

あさひかわ経済
ウォッチ 14

日本銀行では3カ月ごとに、全国の企業を対象に「企業短期経済観測調査」(短観)という名称の統計調査を実施しています。個社の業況や価格動向、事業計画といった企業活動全般を調査対象としており、道北地域の企業の方々にもご協力をいただいています。対象企業の皆様には負担をおかけしていますが、経済情勢を把握するうえで大

注目されている「業況判断D/I」です。これは、業況が「良い」と回答した企業の割合(%)から「悪い」と回答した企業の割合(%)を差し引いた値で、道北地域では、前回(2024年6月調査)のプラス11から今回9月調査のプラス16へと3四半期連続で改善しました。コロナ禍の20年6月調査ではマイナス14まで落ち込みましたが、その後は振れ

変貴重な情報であり、厚くお礼申し上げます。以下では、当事務所が今月1日に公表した道北地域の調査結果を紹介します。

短観でみる道北経済

から今回プラス20へと上昇した一方、製造業では、前回のプラス13から今回0(ゼロ)へと低下しました。製造業の変化をもとに、その一方で、業種別などの内訳をみると、ばらつきがある点には注意を

業界に上がりに比べてきつたが、冒

における在庫調整の最終需要が引き下げればマイペースは止まらない

山庫の積み上げは昨年半ば
ペールドにこみられ、
である。進捗には
しそう

8か年でかり上りし企業おると
から3みり上りし企業おると

「上昇」の割合が回っています。た企業の回つて、ます。他と徐々に経て、今

と深りけ個宮れボ推が続ま
シをいヌス 63 24 列わな回たて

こうした的的な資金繰り家計の移してい
ントで今までみてきた環境が変化するばらつ
くみていくこの点を考えていく

中、先行き、持
上昇を伴いな
支出が堅調に
くかは大きを
す。同時に、こ
きたように経
化するもとで
権・企業間にお
きも生じてお
を含めて注意
く必要があ
ます。

	2024年3月	2024年6月	2024年9月
業況 (良いー悪い)	6	11	16
製造業(同)	13	13	0
非製造業(同)	3	10	20
製商品在庫水準 (過大ー不足)	4	0	7
仕入価格 (上昇ー下落)	63	58	50

今回プラス20へと上
た一方、製造業では、
のプラス13から今回
ヒロヘと低下しまし
らした主な業種とし
ては木材・木製品が
挙げられます。これ
までの資材高などか
ら全国的に住宅着工
の動きが鈍っている
ことや、そうした最
終需要の弱さを受け
て木材市況が下押し
圧力を受けているこ
とが背景にあります。
こうした中、在庫
の過不足感を示す
「製商品在庫水準判
断D-I」(全産業)を

ペースは、おける在庫調整の実績が引き続き、最終需要を予測する上での参考となるべきものとされています。

庫の負担が大きくなるよう、品目別に販売額を算出し、販売率の高い品目を優先的に輸入する方針を取る。また、在庫水準を適切に保つことで、在庫費用を削減する。これらの取り組みにより、総合的なコスト削減が実現する。
（出典：経済産業省「中小企業白書」）

い ュ 起 ま 50 58 か 年 で み し 答 お 企 事 お り 上 と
で 庄 点 ます へ を から 3 で み し 答 お 企 事 お り 上 と

「上昇」の割合が回っています。他の企業によると、今月調査(6月調査)で、徐々に輸入物とする「力自体は経て、今まで見ておら

と回答し、「下落」と割合をみると、55%となり、このことから、55%となることなどが、一方で、時を経て、年々の春先のプライス調査のプライス回のプライスが低下していく傾向にある。物価の上昇率は徐々に抑制され、ストップする傾向がある。

した回がままで、これがまた、この連続が、この系列(24)のかわらべ63ノスフリといふをシンドル和ら上昇す。

中、先行き、持
上昇を伴いな
支出が堅調に
くかは大きにな
す。同時に、こ
きたように経
化するもとで
理・企業間にわ
きも生じてお
を含めて注意
く必要があろ
ます。

週に掲載し
年、大分県出
融市場局企画
フランクフル
経済調査課長
務所長に就任。



【足立祐一(あだち・ゆういち)】

一九七三年、大分県出